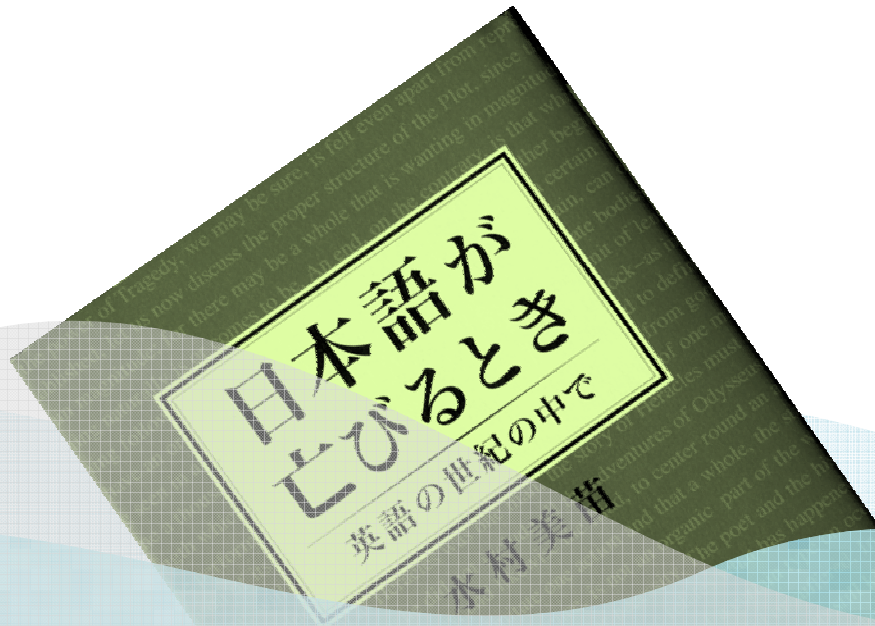


関西学院大学 大学院 言語コミュニケーション文化研究科 共催
言語コミュニケーション文化学会 シンポジウム

コクゴ・エイゴ・言語共同体の未来

—水村美苗 『日本語が亡びるとき』をめぐって—



昨年 10 月に刊行されて以来、水村氏の著書は各方面で大きな反響を起こしている。英語が世界において普遍語（リング・フランカ）となる趨勢が強まる中で、日本語は将来「現地語」のひとつにすぎなくなるのか。日本語で学問研究をおこなうことに意味はあるのか。英語教育や日本語教育は今後どうなされるべきなのか。そして「ブンガク」の行方は？ 多くの挑発的な問いを含む本書に、言語コミュニケーション文化研究という観点から切りこむ。

パネリスト

田村 和彦・山本 雅代・于 康・山上 浩嗣・森本 郁代
(いずれも言語コミュニケーション文化研究科教員)

日時 2009 年 6 月 13 日 (土) 14:00—17:00

関西学院大学上ヶ原キャンパス G号館 326 教室

一般参加自由 他学部・他研究科の教員・学生・院生の方の聴講・参加を歓迎します。